

第5 医療機器の配置状況に関する指標の算定

1 医療機器の配置状況に関する指標の考え方

外来医療計画では、対象区域ごとに、病院及び診療所における医療機器の配置状況を可視化する指標として、性・年齢構成を勘案した「調整人口当たり機器数」を算定します。

対象とする医療機器は、CT、MRI、PET、マンモグラフィ、放射線治療機器です。

2 算定方法

この指標は、医療機器の配置状況を客観的に可視化する指標として、厚生労働省が定めた以下の算定式を用いて、全国で統一的に算出することとされています。

$$\text{調整人口当たり台数} = \frac{\text{地域の医療機器の台数}}{\frac{\text{地域の人口}}{10 \text{ 万}} \times \text{地域の標準化検査率比} (\ast)}$$

$$\ast \text{ 地域の標準化検査率比} = \frac{\text{地域の人口当たり期待検査数 (外来)}}{\text{全国の人口当たり期待検査数 (外来)}}$$

地域の人口当たり期待検査数 (外来) =

$$\frac{\sum \left\{ \frac{\text{全国の性年齢階級別検査数 (外来)}}{\text{全国の性年齢階級別人口}} \times \text{地域の性年齢階級別人口} \right\}}{\text{地域の人口}}$$

3 算定結果

対象区域ごとのCT、MRI、PET、マンモグラフィ、放射線治療機器に関する指標は次のとおりです。

【調整人口あたり台数】

圏域名	CT	MRI	PET	マンモグラフィ	放射線治療機器
南渡島	12.7	7.7	0.46	2.9	0.46
南檜山	16.5	7.0	0.00	4.2	0.00
北渡島檜山	17.6	2.3	0.00	5.5	0.00
札幌	15.2	9.1	0.80	3.2	1.20
後志	18.5	6.8	0.39	3.1	0.38
南空知	13.4	6.8	0.00	1.8	0.49
中空知	17.8	6.2	0.75	4.5	0.73
北空知	11.7	2.5	2.41	3.0	0.00
西胆振	14.5	6.6	0.91	3.1	1.34
東胆振	15.4	5.0	0.88	2.3	0.89
日高	16.7	5.3	0.00	4.4	0.00
上川中部	14.9	8.0	0.45	2.6	1.11
上川北部	15.5	4.1	0.00	4.7	0.00
富良野	10.5	6.5	0.00	2.4	0.00
留萌	11.8	16.0	0.00	2.1	0.00
宗谷	16.4	4.2	0.00	4.5	0.00
北網	13.1	7.1	0.41	2.2	0.40
遠紋	16.6	6.2	0.00	2.8	0.00
十勝	13.1	5.5	0.55	3.1	0.54
釧路	14.6	6.2	0.76	2.4	0.75
根室	11.5	5.1	0.00	3.9	0.00

※厚生労働省「医療機器の調整人口あたり台数に係るデータ集」

4 算定結果の活用

人口減少が進行する中、医療ニーズを踏まえて医療機器を有効に活用し、効率的な医療提供体制を構築していく必要があります。

そのためには、地域に既にある医療機器を適切に把握することが重要であり、病床機能報告等を適宜活用するとともに、地域医療構想調整会議等において医療機器の稼働状況や耐用年数等についての情報共有を図りながら、医療機器の配置状況に関する指標を活用していきます。